

2018年5月7日  
丸紅株式会社

## チリ共和国における水道事業会社追加買収の件

丸紅株式会社（以下「丸紅」）は、株式会社産業革新機構（以下「INCJ」）と共同出資するチリ共和国（以下「チリ」）の水道事業会社 **Aguas Nuevas S.A.**（以下「AN社」）を通じ、チリ第3州で事業展開する水道事業会社 **Aguas Chañar S.A.**（以下「AC社」）の株式100%を、**Toesca S.A. Administradora General de Fondos**（以下「Toesca社」）が組成するインフラファンドと共に取得（以下「本買収」）することで既存株主と合意しました。本買収後の株主構成は、AN社50%、Toesca社50%となります。

AC社は、チリ第3州の10都市、約30万人を対象に上下水道のフルサービス（上水供給・下水処理サービスの提供、上下水道管網の整備・維持、検針・料金徴収等）を提供しています。チリ第3州では、鉱山、農業地や住宅地が混在する一方、大半が砂漠地域のため、水不足が深刻な問題となっており、水道事業のオペレーション機能強化や無収水<sup>(\*)</sup>対策が喫緊の課題となっています。

AN社は、顧客数でチリ第3位の水道事業者であり、傘下に **Aguas del Altiplano社**、**Aguas Araucania社**および **Aguas Magallanes社**の水道事業会社3社を有し、チリ第1、9、12、15州の計4州、48都市、約136万人に上下水道のフルサービスを提供しています。本買収により、AN社傘下4社合計の顧客数はチリ全体の約10%に相当する約166万人に達します。

丸紅は、2006年の **Aguas Decima社**の株式100%取得を皮切りに、日系企業としていち早くチリにおける水道事業に参画し、事業運営に係る幅広い知見を蓄積してきました。本買収後は、蓄積したノウハウを活かし、AC社のオペレーション機能の更なる強化を図っていきます。また、2014年にINCJと共同買収したポルトガルの水道事業会社 **AGS社<sup>(\*\*)</sup>**が有する先進的な上下水施設管理システム（アセットマネジメントシステム）を活用し、AC社の無収水対策を進めることで、限りある貴重な水資源の有効活用を推進していきます。

丸紅は、チリにおいて水道事業のほか、太陽光発電事業などのインフラ関連事業、ならびに銅事業を展開しています。本買収により、チリにおける主要インフラ事業者としての更なる事業展開を推進していきます。

また、AN社を通じてチリの人々に安全な水・公衆衛生サービスを届ける社会的責任を果たすと共に、チリで蓄積した知見を活用し、世界中で民間水道事業を積極的に展開していきます。

(\*) 無収水：上水供給元から最終顧客に到達するまでの配水管網における漏水・盗水等、売上に結びつかない水量。

(\*\*) AGS - Administração e Gestão de Sistemas de Salubridade, S.A.

以上

## 【Aguas Chañar S.A.概要】

設立年	2003年
所在地(州)	チリ・第3州(アタカマ州)
事業内容	第3州の10都市向け水道事業

## 【Aguas Nuevas S.A.概要】

設立年	2004年
所在地(州)	チリ・サンティアゴ首都州
株主構成	丸紅 : 50% INCJ : 50%
事業内容	水道事業への投資会社。傘下事業体の管理および新規開発機能を保有。

## 【Toesca S.A. Administradora General de Fondos 概要】

設立年	2016年
所在地(州)	チリ・サンティアゴ首都州
事業内容	アセットマネジメント(資産規模:8億米ドル超)

## 【案件所在地】

